

オキナグサ

Pulsatilla cernua

キンボウゲ科

カテゴリー

大分県 Ⅱ

環境庁 Ⅱ

種
子
植
物



丘陵地や低山地の日当たりのよい草原に生える多年草。根は太く、地中深く入る。根葉には長い柄があるが、茎葉は無柄で、全体に白毛が密生している。花期は4～5月、高さ10～20cmの花柄を苞ほうの中から伸ばし、その先に外面が白い毛でおおわれた赤紫色の花を下向きに咲かす。花後、花柱が伸びて3～4cmとなり、灰白色の毛が密生して老人の白髪を連想させる。草原の森林化や人による採取で、生育地の減少や消滅が懸念される。

(写真：安田彬明 文：小田 毅)

県内分布 日田低地・丘陵地、玖珠丘陵地・山地、九重火山群、由布・鶴見火山群、大分川・大野川丘陵地、豊後水道後背地域、大野川上流域、祖母・傾山地

分布域 本州、四国、九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
韓国(済州島)、中国

国立・国定公園指定植物 [阿蘇くじゅう、瀬戸内海、日豊海岸、祖母傾]